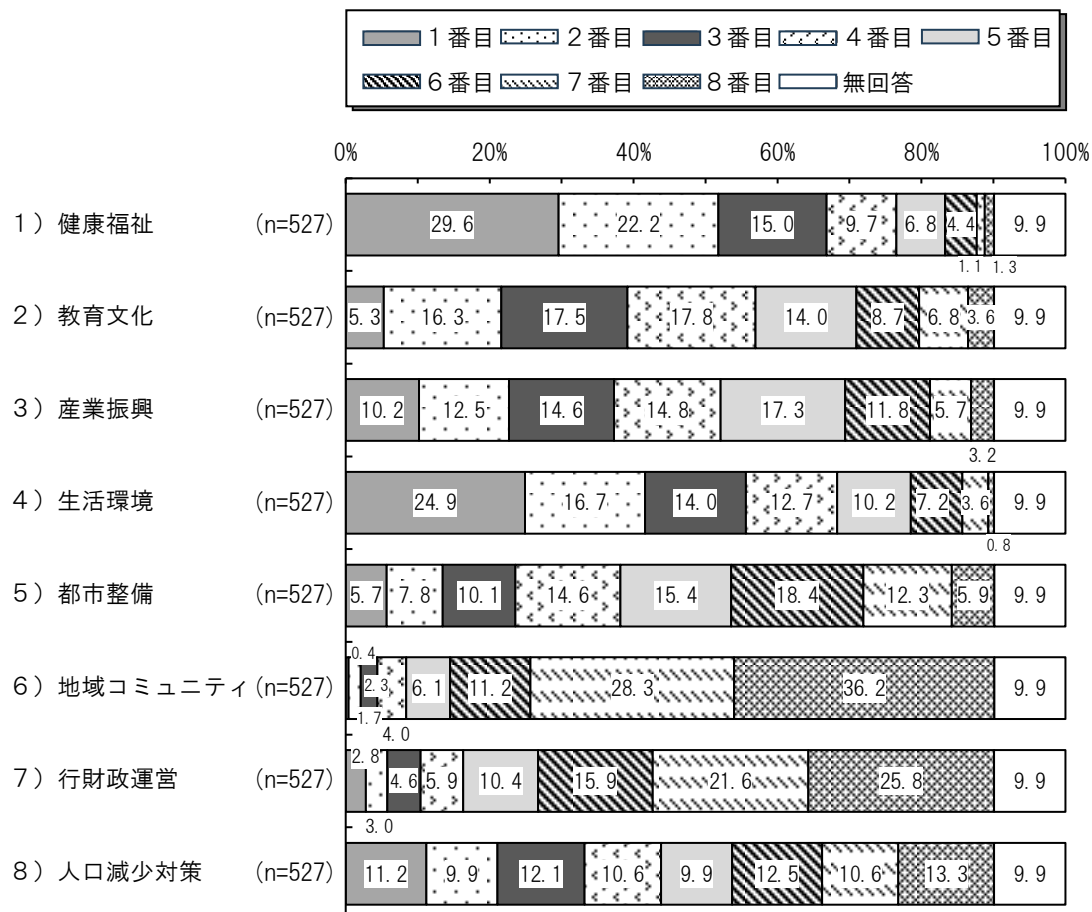


ix 今後のまちづくりについて

30 これからの注力分野

【問19】まちづくりで取り組むべき分野の優先度について、どのようにお考えになりますか。力を入れるべき優先順に1番から8番まで記入してください。

これからの注力分野は、「健康福祉」が最も多く1番目に選ばれている。

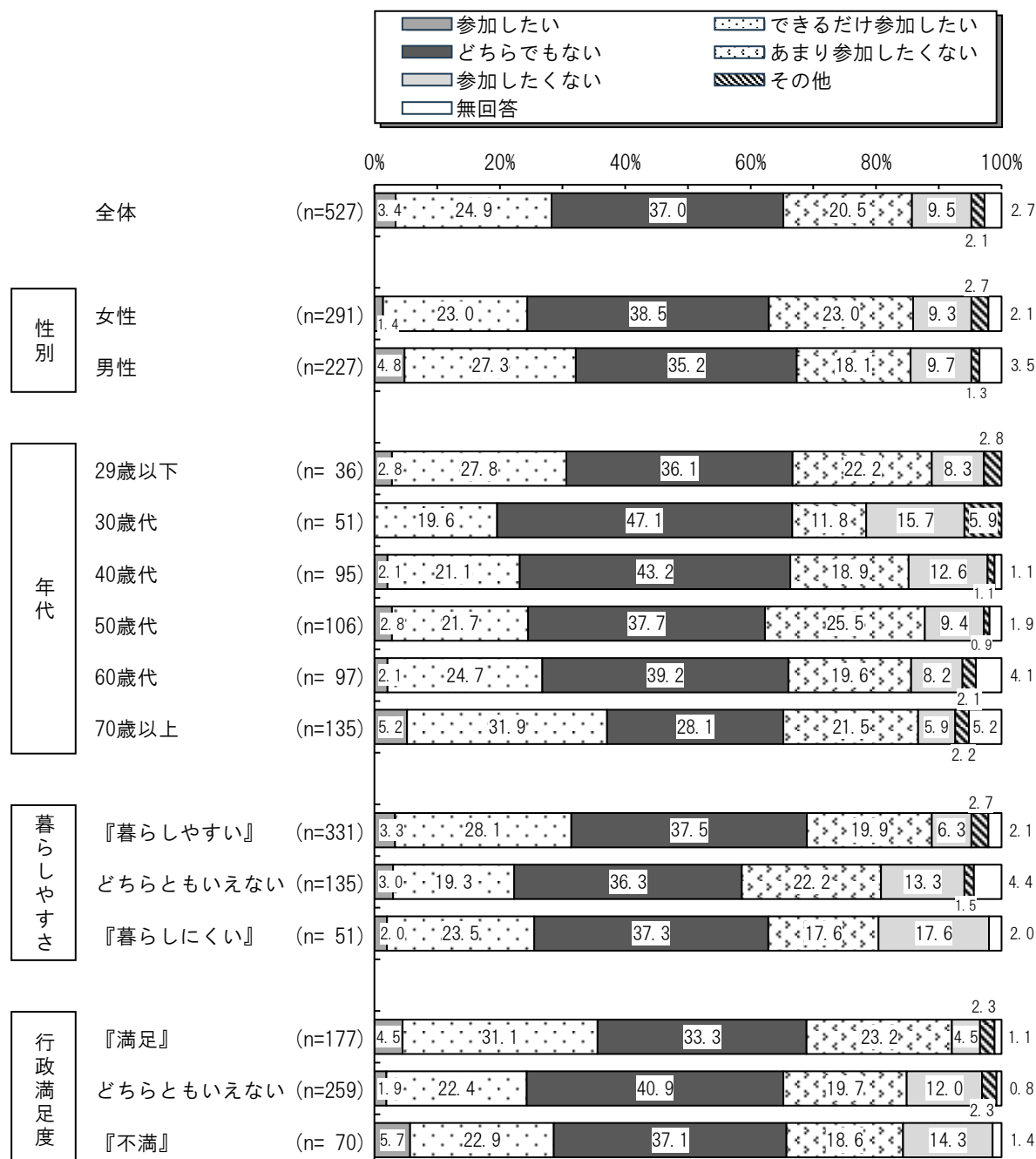


※0.0%非表示

31 まちづくりに対する市民参加の機会がある場合の参加意向

【問20】まちづくりに対する市民参加の機会がある場合、参加したいと思いますか。（〇は1つ）

まちづくりに対する市民参加の機会がある場合の参加意向は、「どちらでもない」が37.0%と最も多く、次いで「できるだけ参加したい」が24.9%、「あまり参加したくない」が20.5%などとなっている。

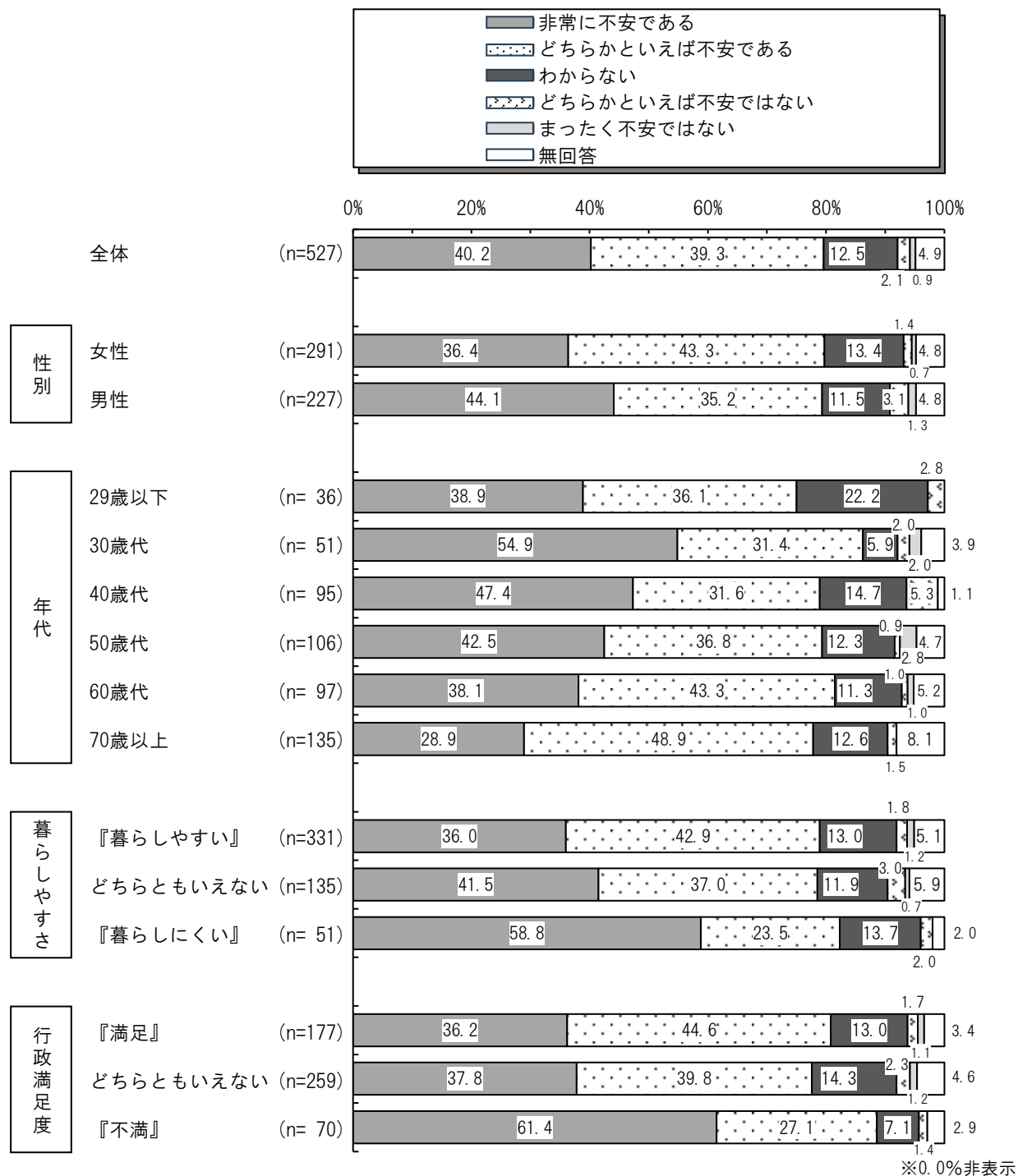


※0.0%非表示

32 岡谷市の人口減少に対する考え

【問21】岡谷市の人口は45,605人（4/1現在）ですが、国の推計によると2045年には約34,000人まで減少し、少子高齢化がさらに進行することで、税収の減少や一人当たり社会保障費の増大など、自治体の行政運営や市民の生活にも様々な影響が出ると考えられます。人口減少に対するお考えを教えてください。（〇は1つ）

岡谷市の人口減少に対する考えは、「非常に不安である」が40.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば不安である」が39.3%、「わからない」が12.5%などとなっている。



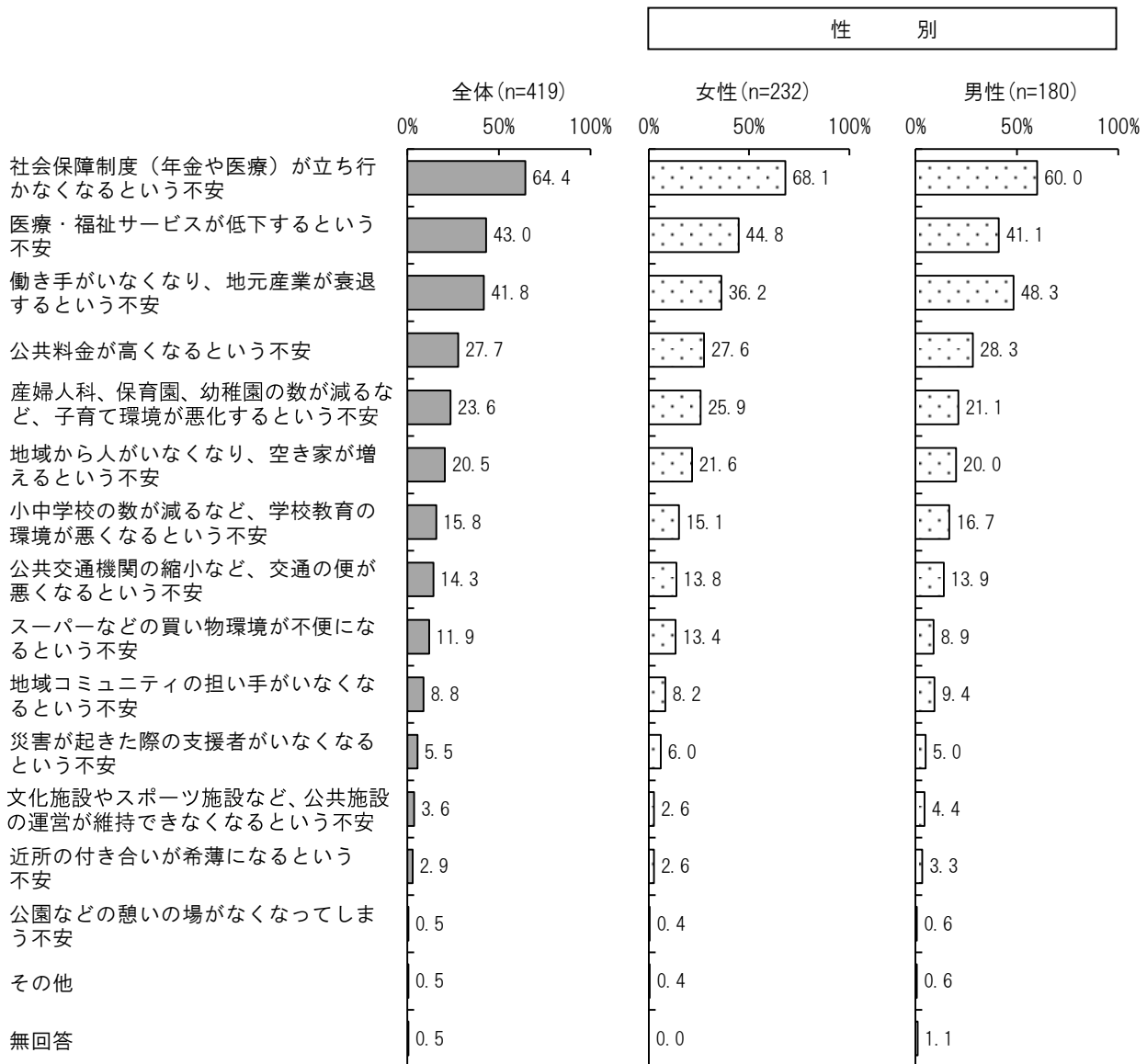
33 人口減少に対して不安に思う理由

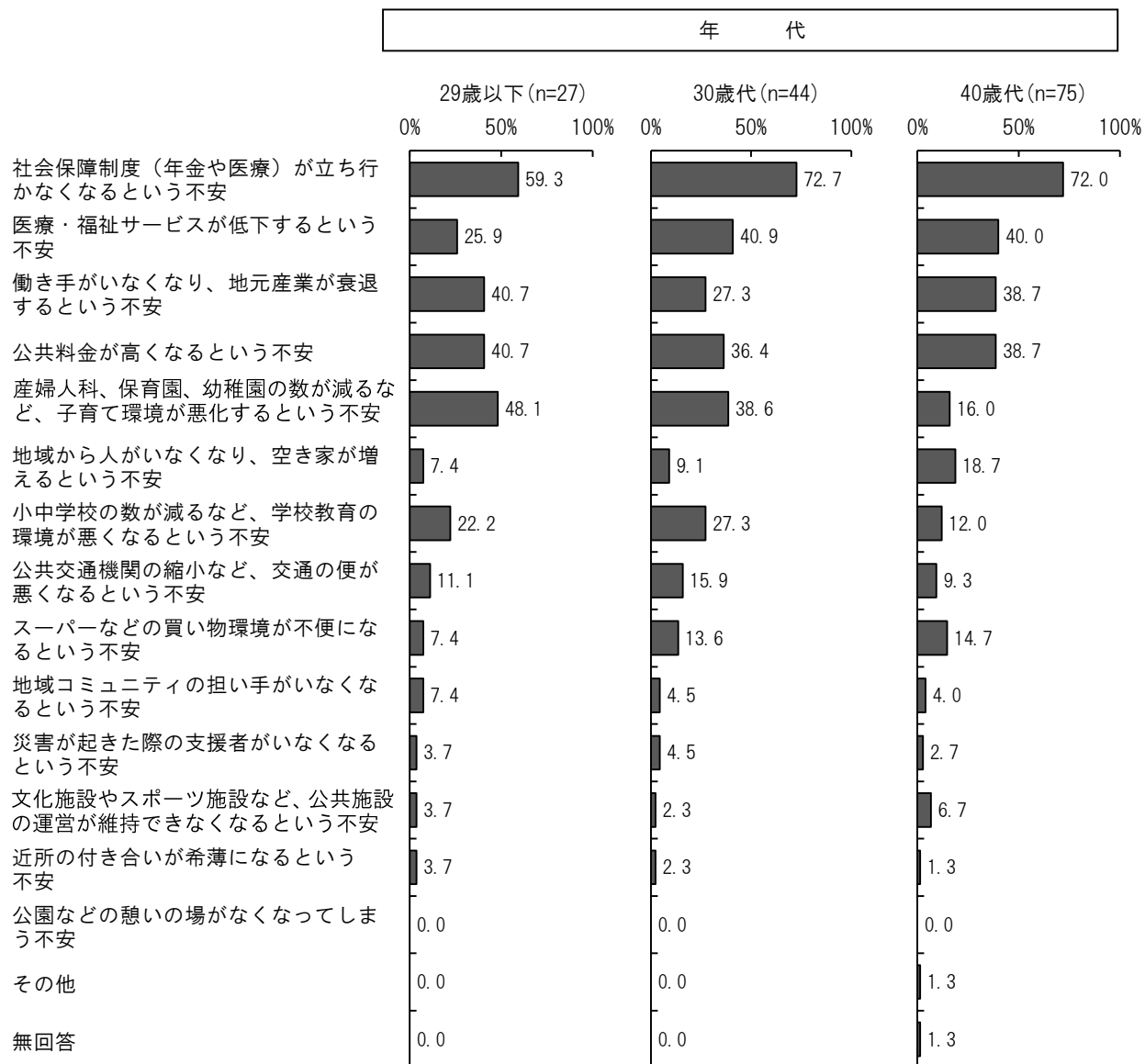
《問21で「非常に不安である」「どちらかといえば不安である」を選んだ方》

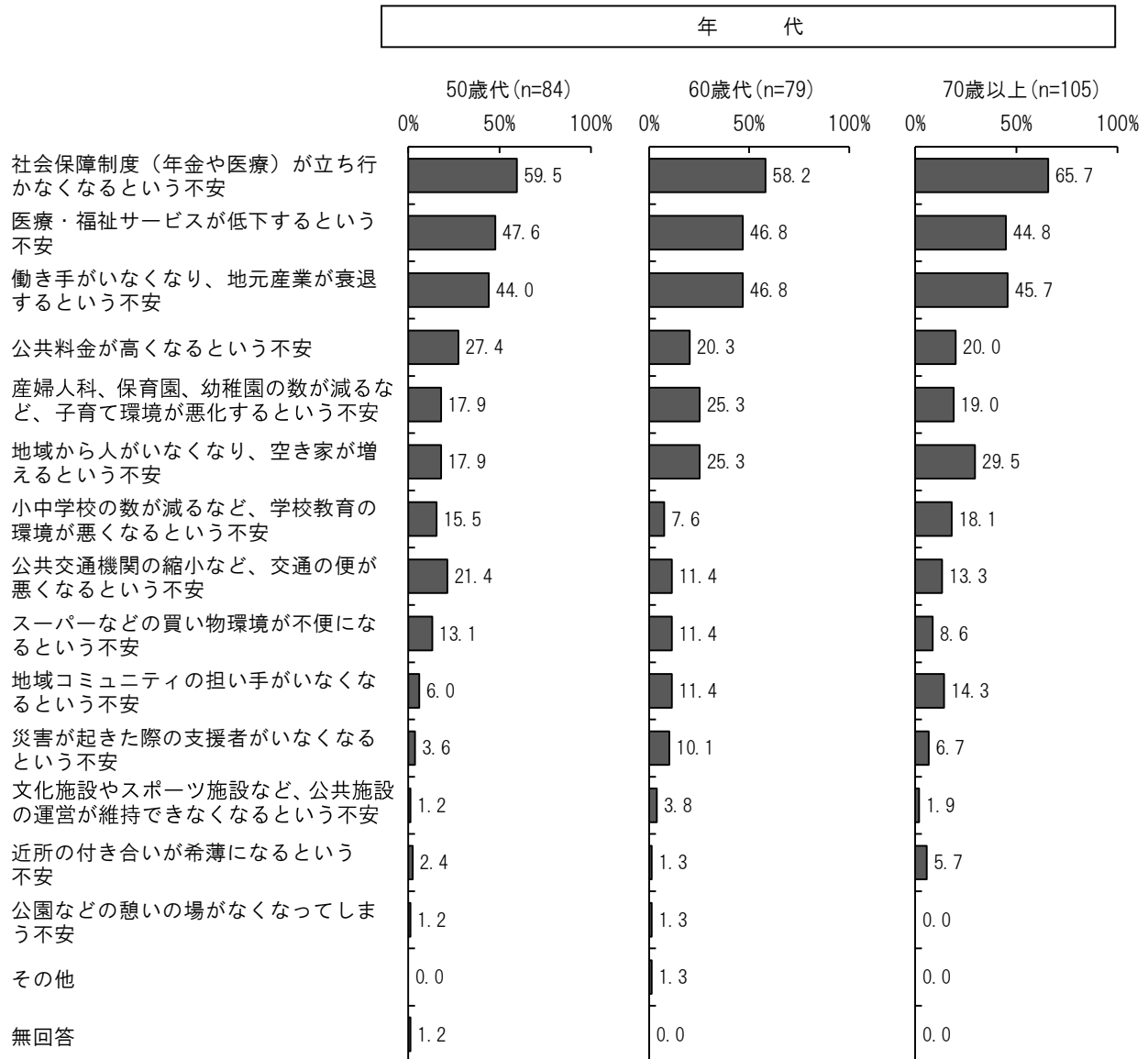
【問21－1】 そのように思う主な理由は何ですか。

(○は3つまで)

人口減少に対して不安に思う理由は、「社会保障制度（年金や医療）が立ち行かなくなるという不安」が64.4%と最も多く、次いで「医療・福祉サービスが低下するという不安」が43.0%、「働き手がいなくなり、地元産業が衰退するという不安」が41.8%などとなっている。





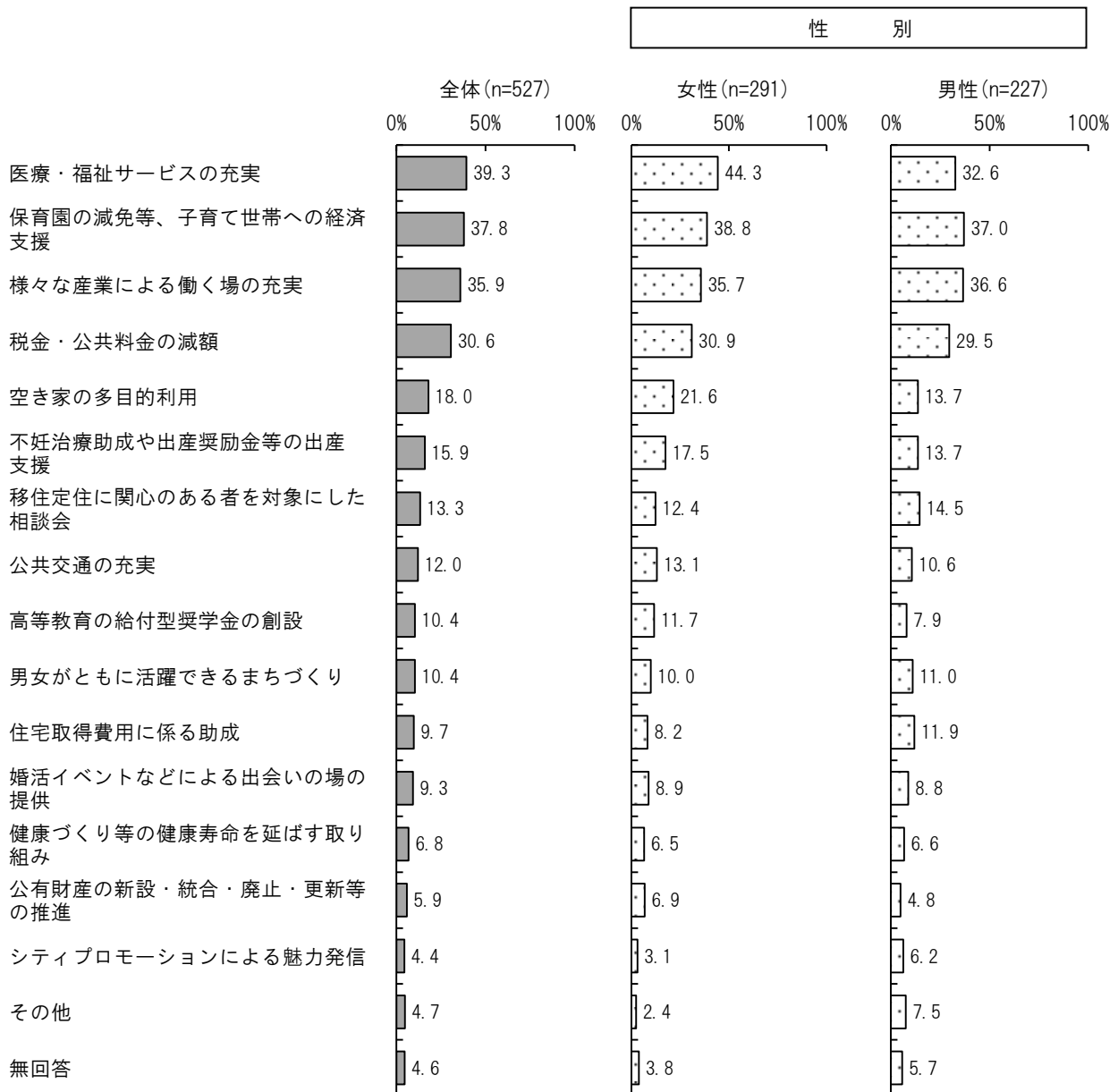


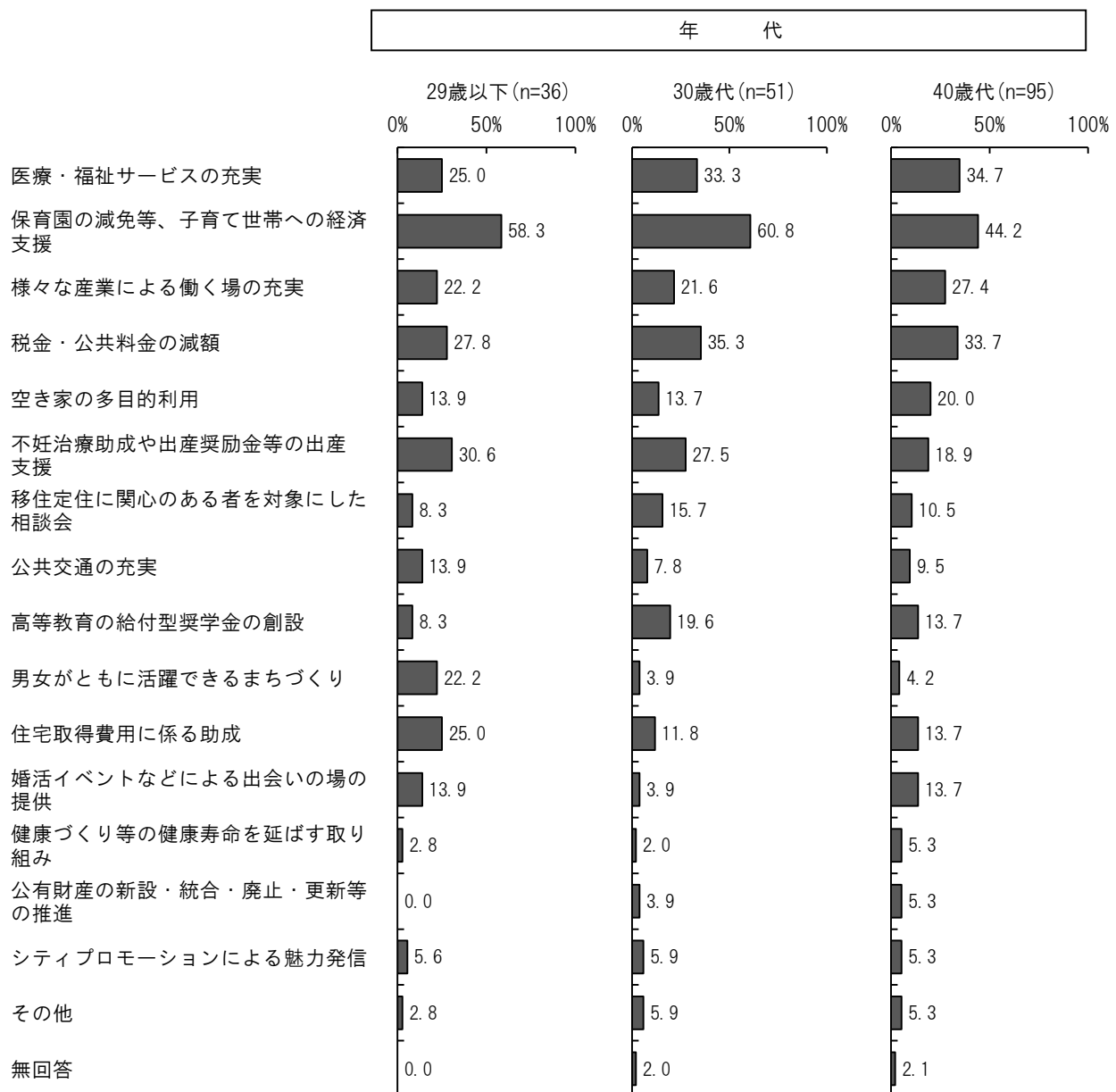
34 人口減少対策について力を入れるべきこと

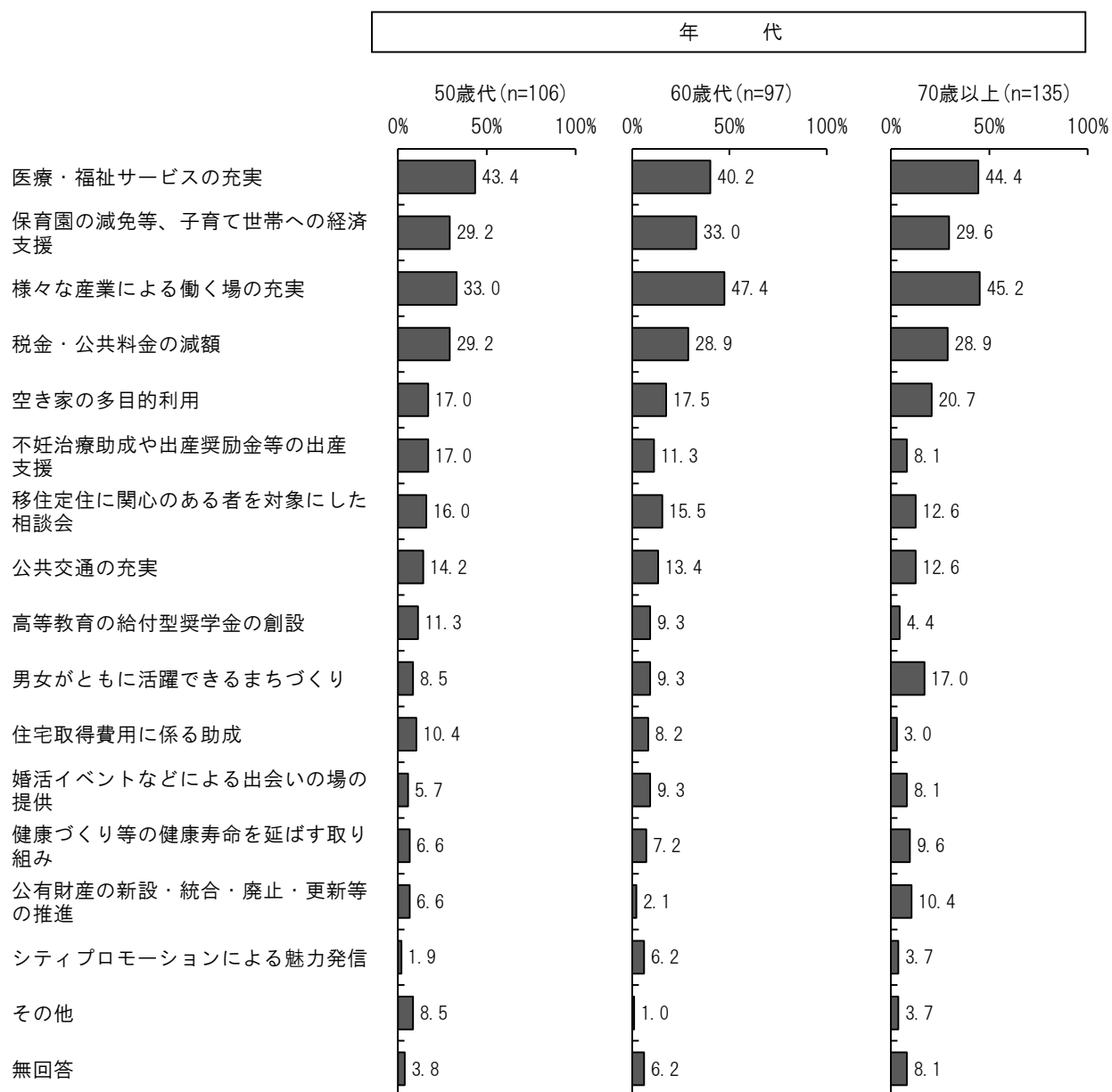
【問22】岡谷市は人口減少対策について、どのようなことに力を入れるべきですか。

(○は3つまで)

人口減少対策について力を入れるべきことは、「医療・福祉サービスの充実」が39.3%と最も多く、次いで「保育園の減免等、子育て世帯への経済支援」が37.8%、「様々な産業による働く場の充実」が35.9%などとなっている。





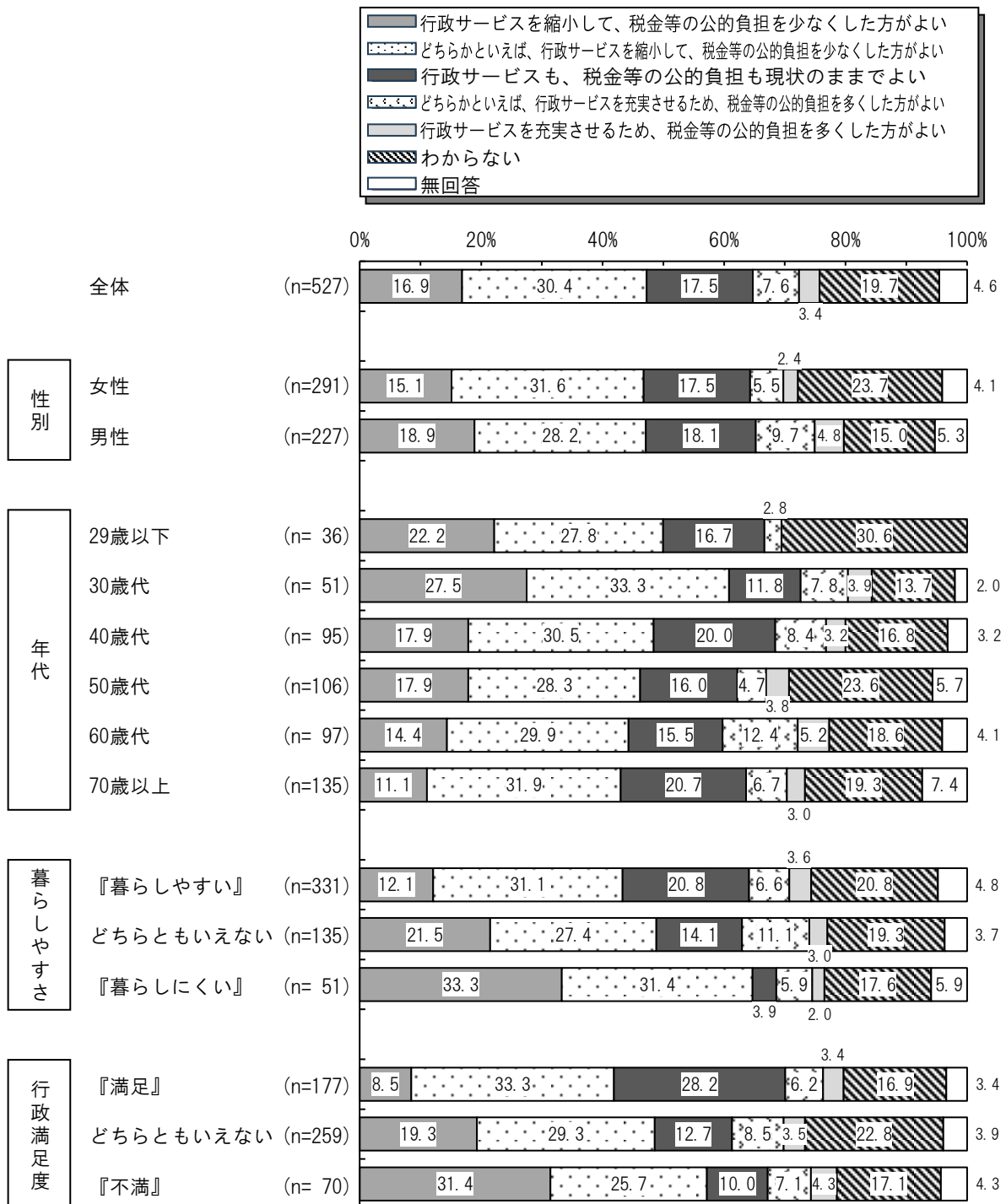


35 行政サービスと市民負担との関係

【問23】人口減少や少子高齢化により、地方自治体を取り巻く財政状況はいつそう厳しくなり、これからのまちづくりは限られた財源をより効果的に配分・活用していく必要があります。このような中で今後の行政サービスのあり方について、どのように考えますか。

(〇は1つ)

行政サービスと市民負担との関係は、「どちらかといえば、行政サービスを縮小して、税金等の公的負担を少なくした方がよい」が30.4%と最も多く、次いで「わからない」が19.7%、「行政サービスも、税金等の公的負担も現状のままでよい」が17.5%などとなっている。



※0.0%非表示

【問24】財源を捻出する上で行財政改革もあわせて行っていく必要がありますが、岡谷市が優先的に
 行すべき項目はどのようなことですか。 (〇は3つまで)

行財政改革における優先的事項は、「周辺市町村との連携による事業の共同実施」が30.9%と最も多く、次いで「市有地（遊休地）の売却や貸付」が29.4%、「各団体への助成金・補助金の見直しや減額」が28.5%などとなっている。

